

鉄軌道輸送の安全に関わる情報（令和6年度）

〔概要版〕

1. 運転事故

(1) 概要

○運転事故※¹の件数は長期的に減少傾向にあります。令和6年度は596件(対前年度84件減)、死傷者数は496人(同80人減)、うち死亡者数は245人(同48人減)でした。(表1参照)

○乗客の死亡事故は、ありませんでした。

表1: 運転事故の件数及び死傷者数(令和6年度)

	件数 (対前年度)	死傷者数※ ¹² (対前年度)	うち死亡者数 (対前年度)
列車事故※ ²	17件 (+ 8件)	16人 (+ 12人)	0人 (- 1人)
うち列車衝突事故※ ³	5件 (+ 3件)	16人 (+ 15人)	0人 (± 0人)
うち列車脱線事故※ ⁴	12件 (+ 5件)	0人 (- 3人)	0人 (- 1人)
うち列車火災事故※ ⁵	0件 (± 0件)	0人 (± 0人)	0人 (± 0人)
踏切事故※ ⁶	217件 (- 40件)	140人 (- 24人)	87人 (- 16人)
うち踏切障害に伴う列車事故※ ⁷	0件 (- 1件)	0人 (- 1人)	0人 (- 1人)
うち踏切障害事故※ ⁸	217件 (- 39件)	140人 (- 23人)	87人 (- 15人)
道路障害事故※ ⁹	34件 (+ 5件)	13人 (- 9人)	0人 (- 2人)
人身障害事故※ ¹⁰	321件 (- 60件)	327人 (- 60人)	158人 (- 30人)
うち線路内立入り等による列車との接触	182件 (- 31件)	183人 (- 32人)	128人 (- 35人)
うちホームでの列車との接触	128件 (- 22件)	128人 (- 22人)	27人 (+ 5人)
物損事故※ ¹¹	7件 (+ 2件)		
合計	596件 (- 84件)	496人 (- 80人)	245人 (- 48人)

※¹ 「運転事故」とは、列車事故、踏切障害事故、道路障害事故、人身障害事故及び物損事故をいう。

※² 「列車事故」とは、列車衝突事故、列車脱線事故及び列車火災事故をいう。

※³ 「列車衝突事故」とは、列車が他の列車又は車両と衝突し、又は接触した事故をいう(軌道事業においては、本線路を運転する車両が他の車両と衝突し、又は接触した事故をいう)。

※⁴ 「列車脱線事故」とは、列車(軌道事業においては、本線路を運転する車両)が脱線した事故をいう。

※⁵ 「列車火災事故」とは、列車(軌道事業においては、本線路を運転する車両)に火災が生じた事故をいう。

※⁶ 「踏切事故」とは、踏切障害に伴う列車事故及び踏切障害事故をいう。

(3) 人身障害事故

○令和6年度に発生した人身障害事故は運転事故全体の53.9%に当たる321件(対前年度比60件減)でした。(表1参照)

○令和6年度に発生した人身障害事故による死傷者数は327人(運転事故に占める割合65.9%、対前年度比60人減)、うち死亡者数は158人(同64.5%、同30人減)でした。(表1参照)

○令和6年度に発生した人身障害事故のうち、「ホームから転落して接触」及び「ホーム上で接触」した件数は128件(運転事故に占める割合21.5%、対前年度比同22件減、)でした。(図7参照)

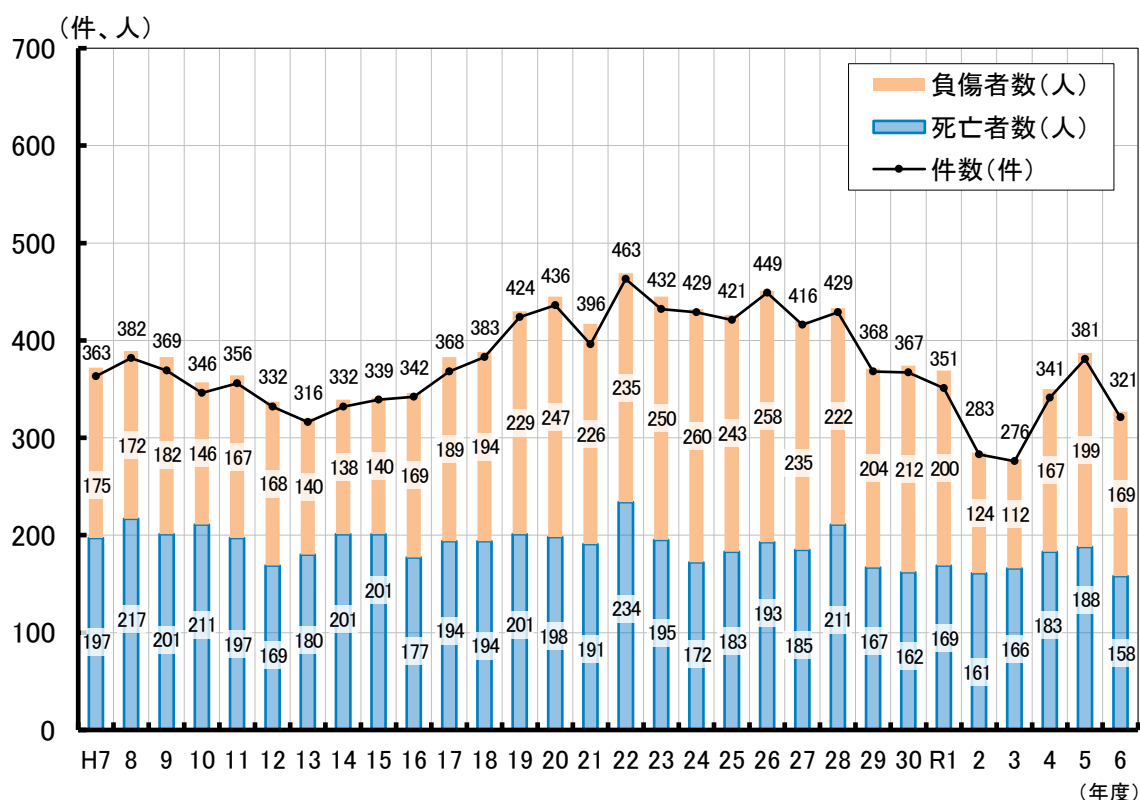


図5: 人身障害事故の件数及び死傷者数の推移

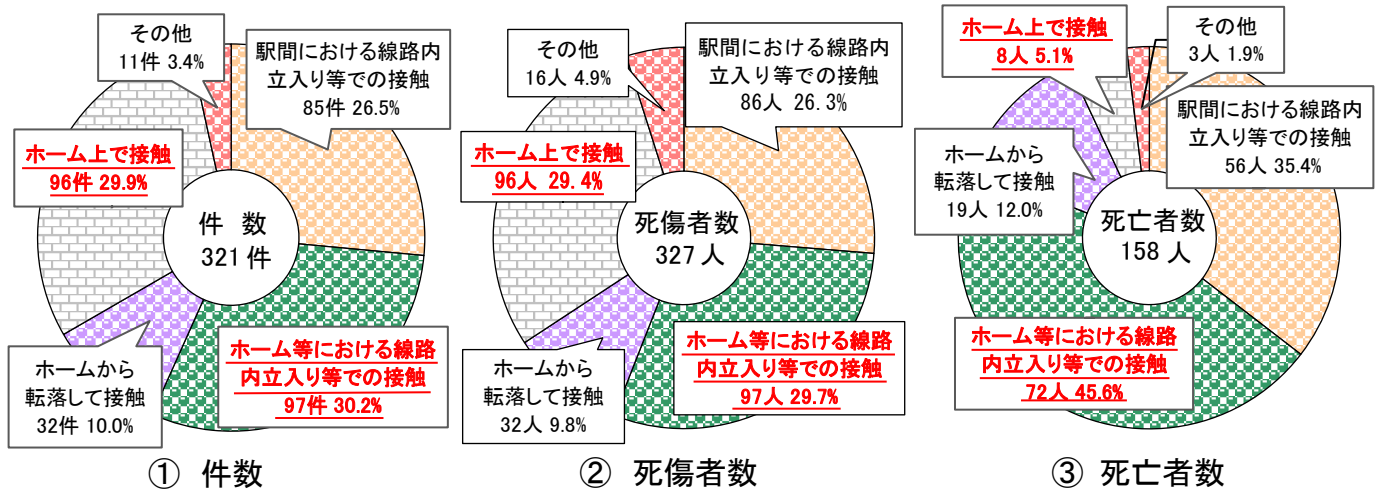


図6: 人身障害事故の原因等別の件数及び死傷者数(令和6年度)

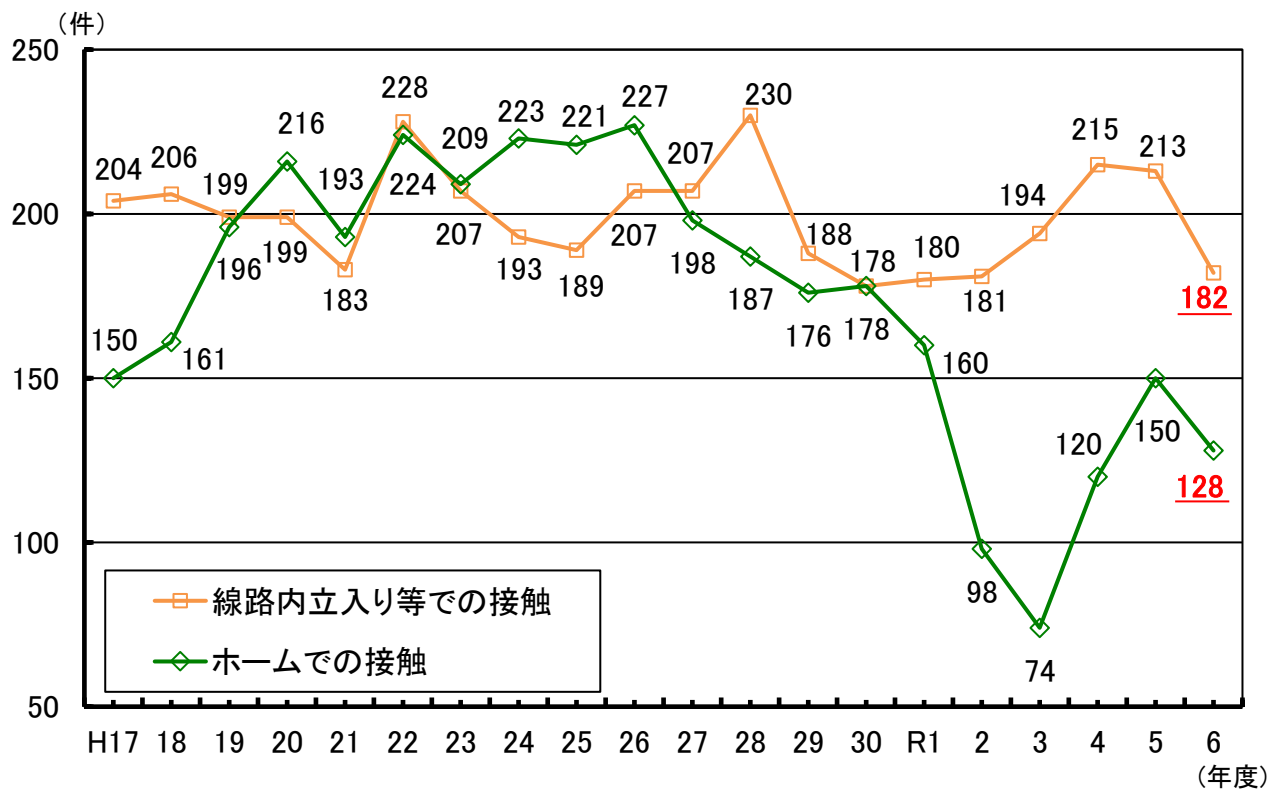


図7: ホームでの接触及び線路内立入り等での接触による人身障害事故件数の推移